

発行者：秦野市議会議員

やひろ伸二

議会だより

連絡先：

〒259-1304 秦野市堀山下1番地

TEL. 0463-88-2777 (後援会事務所)

http://members2.jcom.home.ne.jp/shinji.yahiro/

平成27年 秦野市議会 第3回定例会報告！



秦野市議会第3回定例会(9月議会)が9月18日から10月21日の会期で開催され、平成26年度歳入歳出決算の認定を含めた市長提出議案14件、報告4件、議員発議の議提議案3件などを審議・議決し閉会しました。

主な議決内容は以下の通りです。

1. 議提議案を審議

(1) 小児医療費助成制度 小6まで拡大を決議

我が会派の代表を含む5名の賛同により、小児医療費助成制度を所得制限なしで小学校6年生まで拡大するという議提議案(議員発議の議案)が提案され、賛成多数で決議されました。

現在、本市の小児医療費の通院助成は、平成24年10月に未就学児から所得制限付きで小学校4年生まで引き上げました。そして、平塚市が来年4月から所得制限付きで1億2千万円を投じ、中学校3年生に引き上げることを先般の定例会で可決したところでは、



私は、近隣市町の状況を踏まえると年齢拡大は本市として必須事項であると考え賛成しました。市長は、この決議を重く受け止め、生産年齢人口層に永住先として本市を選んでもらえるよう、努力をしてもらいたいと願っています。

私は、近隣市町の状況を踏まえると年齢拡大は本市として必須事項であると考え賛成しました。市長は、この決議を重く受け止め、生産年齢人口層に永住先として本市を選んでもらえるよう、努力をしてもらいたいと願っています。

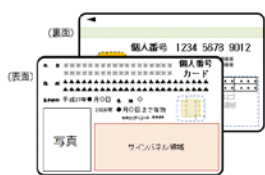
(2) 議員報酬の5%削減を否決

新任期となり、改めて議員報酬5%を削減するべきという議提議案が1名の提案議員、ならびに、5名の賛同により提案がなされ、賛成少数にて否決されました。



私は、これまでも子育て世代の方々にも市議会議員を志して欲しいと考えること、もし、削減するとしても時限的なものではなく報酬条例(本則)を変更するべきであること、さらには、今任期から議員定数を2名減とし約2千万円を削減したことなどから、今回も反対をさせて頂きました。

2. マイナンバー制度に関わる条例整備



10月より個人を識別する番号が発送されることを受け、本市でも個人番号の利用事務、通知カード及び個人番号の再交付に伴う手数料などを定める条例改正などの提案がなされ、賛成多数で可決しました。

この議案は、既に国で決定している制度を受けて条例を整備するものです。

この議案は、既に国で決定している制度を受けて条例を整備するものです。

3. 平成27年度一般会計補正予算を承認



改修が予定される中央運動公園テニスコート

平成27年度の一般会計歳入歳出予算の総額2億909万9千円を追加し、491億3,417万6千円とする提案がなされ、賛成多数で可決しました。今回は、スポーツ施設改修事業費として中央運動公園内のテニスコートをクレーから雨や冬の霜などに強いオムニに変更する事業などが、提案されました。以前からテニス愛好家より、クレーコートが冬に使えないなどの意見を頂戴し、改善をお願いしていたこともあり、私は賛成しました。主な事業は下記の通りです。

事業名	金額(円)
ふるさと寄付金記念品贈呈事業費	29,139,000
個人番号カード交付事務経費	66,967,000
公立認定こども園施設維持管理費	21,993,000
スポーツ施設改修事業費	67,000,000

4. 平成26年度の決算を認定

平成26年度の一般会計及び水道事業会計、ならびに5つの特別会計(国保・下水道・老人医療・介護・後期高齢者医療)の決算を認定(承認)しました。一般会計の歳入歳出決算額462億3,231万4,072円となり、対前年比5.6%増となりましたが、自主財源は1%の減となるなど、厳しい状況は続いています。

なお、不納欠損額は約5億2千万円となっており、まだまだ厳しい状況が続いています。

5. 市施行で区画整理

2020年度中の完了をめざした、市施行による「秦野市駅南部(今泉)土地区画整理事業施行」に関する条例制定の提案を可決しました。



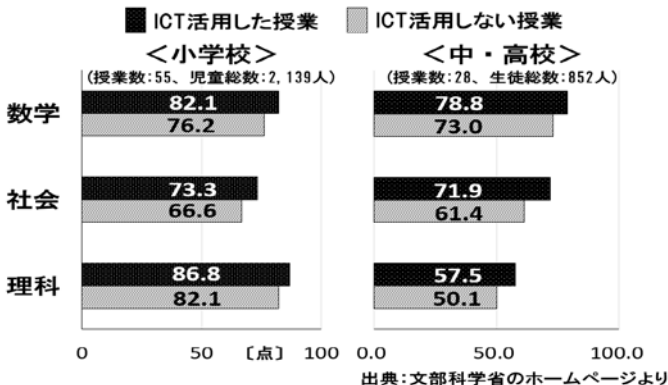
平成27年 第3回定例会 一般質問内容 やひろ伸二



今定例会において、ICTを活用した学校教育の検討状況、子育て支援について「産婦人科、小児医療費助成制度」などに関する本市の状況について、質問を行いました。主な内容は下記となります。

1. ICT教育の検討状況について

客観テストによって明らかになったICT活用の効果



〔質問〕

- (1) 教員の多忙化を解消するための「校務支援ソフト」の導入状況は？
- (2) 教育研究所として、今後の授業におけるICTの検討状況はどの程度か？
- (3) 文部科学省の調査では数学、社会、理科の3教科を比較した場合、全てICTを活用した効果が見られる。ICTを活用した教育を進めるに当たっての課題は？
- (4) ICT専門の職員を置き、早期かつ十分な検討ができる環境を作ってはどうか？

〔回答〕

- (1) 今年度、「学校ICT推進研究部会」を新たに立ち上げ、校務の効率化やICT機器を活用した授業づくりに向けた研究を進めている。
- (2) 現在策定している次期「総合計画」も含め、計画的な環境整備と並行してICT機器操作の習熟と授業活用の研究・研修を進めていきたいと考えている。
- (3) 学校におけるICTの教育環境は様々な形態があり、自治体の財政状況によって費用負担も大きな幅がある。ICT機器の特性を踏まえ、本市の実態に即した計画的かつ効果的な環境整備をどう進めていくかが大きな課題である。
- (4) 引き続きICT支援員を導入し、今後の学校におけるICT環境の整備に向けた助言等をいただき、円滑で効果的なICTを活用した環境づくりを進めていきたい。

◆◆意見要望◆◆

ICTの導入は、生徒が興味を持ち、学習意欲が向上するような導入をお願いしたい。

また、生徒の意欲のみならず、鶴巻中学校の先生が発表したように、教員のニーズにも配慮し進めて頂くことをお願いする。

2. 子育て支援について (1) 産婦人科の状況

〔質問〕

- (1) 八木病院(医療法人杏林会)の移転に際し、協定を結んだ背景は？
- (2) 移転が計画されている八木病院の分娩数は200～300件程度で、秦野赤十字病院に産婦人科があった時と比較し市内の分娩数は400～500件程度少なくなる。市はどう捉えているのか？

〔回答〕

- (1) 本市営住宅跡地(鈴張町)へ産婦人科開設を前提として新築移転したいとの申し出があり、30年の定期借地権を設定し、出来るだけ早く買い取っていただくとともに、新築移転に伴い産婦人科の開設・継続を契約条件に決定した。
- (2) 八木病院が平成29年4月に産婦人科を開設することで、市民が安心して市内で出産できる環境を創出できると考えるが、秦野赤十字病院の分娩再開に向けて協議を続けていく。

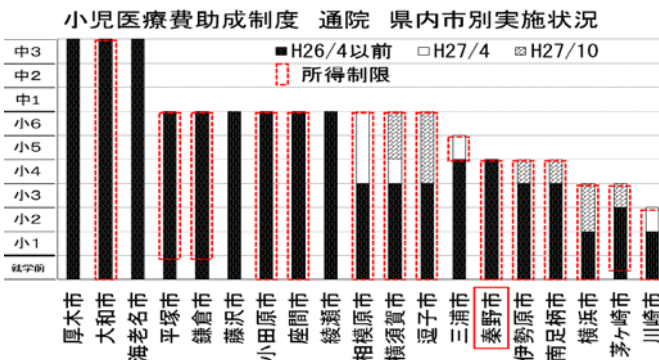
◆◆意見要望◆◆

市民が安心して出産できる環境とするには、一日も早い秦野赤十字病院の分娩再開が鍵となります。空白期間が長期とならないよう、引き続きの交渉をお願いする。

(2) 小児医療費助成制度の拡充

〔質問〕

- (1) 小児医療費助成制度は、本市にとってどのような位置づけなのか？
- (2) 近隣市の状況から、今が年齢拡充のタイミングではないか？



〔回答〕

- (1) 少子化対策が叫ばれる中で、全国均一に国が実施すべき事業と考えている。
- (2) 子育て支援施策全体の中でしっかりと検証した上で検討していきたい。